

# 「Neurological Surgery 脳神経外科」第 47 巻 総目次

2019 年（第 1 号—第 12 号）

数字は通巻頁数, ( ) は号数

## 【扉】

これからの若者の生き方を考える—VUCA

時代をどう乗り越えるか—山形 専・ 3 (1)

医学研究とは自然との対話である—神経再生

の研究を通じて—本望 修・ 127 (2)

「死の谷」を越える—高橋 淳・ 259 (3)

鷹の眼と獅子の心と貴婦人の手—藤津 和彦・ 385 (4)

社会的共通資本としての地域医療・私論

—寺岡 暉・ 501 (5)

時の流れを考える—“平成”という時代を駆

け抜けて—武笠 晃丈・ 595 (6)

雑感—高木 康志・ 705 (7)

「65-18」—山本 淳考・ 823 (8)

術中モニタリングの一考察—佐々木達也・ 925 (9)

東京の医療について—山口 武兼・ 1019 (10)

「最近の医療事故報道に思う」—その後

—本郷 一博・ 1127 (11)

私の「苦いカルテ」—1 脳外科医の 41 年間の

反省—河野 兼久・ 1221 (12)

## 【総説】

脳血管障害外来患者の診療に役立つ高血圧症

の管理—吾郷 哲朗・ 49 (1)

脳神経外科と医工融合による医療機器開発

伊関 洋・村垣 善浩・正宗 賢

田村 学・岡本 淳・小林英津子

生田 聡子・堀瀬 友貴・楠田 佳緒・ 169 (2)

わが国における地域脳卒中登録からみた脳卒

中の現状—滋賀県脳卒中登録より—

—高嶋 直敬

喜多 義邦・三浦 克之・野崎 和彦・ 297 (3)

脳神経外科手術におけるフレイルの問題

—森 健太郎・ 389 (4)

経鼻内視鏡手術の現状と未来

—吉本 幸司・藤尾 信吾・ 503 (5)

下垂体腫瘍の 2017 年 WHO 組織分類

—西岡 宏・井下 尚子・ 597 (6)

超急性期脳梗塞に対する再開通療法の現在

—早川 幹人・ 607 (6)

医療経済からみた脳神経外科疾患

—亀田 雅博・伊達 勲・ 707 (7)

量子科学技術の生体応用

—荒牧 修平・瀬藤 光利・ 719 (7)

椎骨動脈を中心とした解離性脳動脈瘤の病

態, 病理と治療—水谷 徹・ 825 (8)

病態から考える頭蓋内硬膜動静脈瘻の診断と

治療—秋山 武紀・ 927 (9)

大脳半球切除術と離断術の歴史と進歩

—川合 謙介・ 1021 (10)

医療事故調査制度と脳神経外科—佐藤 慎哉・ 1129 (11)

末梢神経鞘腫の手術

—原 政人・青山 正寛・山本 優・ 1223 (12)

## 【解剖を中心とした脳神経手術手技】

右前頭葉病変に対する高次脳機能温存型覚醒

下手術—中田 光俊

木下 雅史・中嶋 理帆・篠原 治道・ 179 (2)

言語の神経基盤に基づいた覚醒下手術

—藤井 正純・ 309 (3)

Insular glioma における surgical anatomy と手

術手技—齊藤 邦昭・ 405 (4)

神経症状を呈する胸腰椎移行部の骨粗鬆症性

椎体破裂骨折の外科治療

—佐々木 学・米延 策雄・貴島 晴彦・ 511 (5)

内視鏡下経鼻手術における解剖に基づいた手

術と工夫—石井 雄道・森 良介

大村 和弘・鴻 信義・村山 雄一・ 619 (6)

解剖に基づいた頭蓋骨縫合早期癒合症の手術

—赤井 卓也・山下 昌信・ 733 (7)

## 【研究】

頸部放射線治療後早期に進行する頸動脈狭窄

症の危険因子—川内 豪

佐野 徳隆・坂本 匡人・大越 忠和

呉 浩一・尾市 雄輝・池田 宏之

宮腰 明典・早瀬 睦・戸田 弘紀・ 63 (1)  
 急性期脳出血患者における抗凝固療法導入に  
 よる急性肺血栓塞栓症予防…加藤 侑哉  
 田代 亮介・吉田 昌弘・富永 侑二・ 199 (2)  
 TVEにより頸部痛が消失した anterior condy-  
 lar confluent dural AVF に関する病態の検  
 討……………内田 賢一  
 保格 宏務・青柳 盟史・詫磨 裕史  
 古館隆太郎・三井 英央・廣田 暢夫・ 419 (4)  
 小児もやもや病における血行再建術直後の啼  
 泣回避—デクスメデトミジンによる鎮静  
 —……………本庄 華織  
 大里 俊明・大森 恵・村木 岳史  
 石川 耕平・岡村 尚泰・中村 博彦・ 525 (5)  
 ワルファリン関連頭蓋内出血に対するプロト  
 ロンビン複合体製剤 (PCC) 投与の有効  
 性……………井村 隼・山川 皓  
 池田 充・森川 雅史・甲村 英二・ 629 (6)  
 アテローム血栓性脳主幹動脈閉塞症に対する  
 急性期再開通療法の検討……西脇崇裕貴  
 榎本由貴子・江頭 裕介・岩間 亨・ 745 (7)  
 重症急性硬膜下血腫における頭蓋内圧亢進の  
 予測因子に関する検討……………清平 美和  
 末廣 栄一・藤山 雄一・鈴木 倫保・ 753 (7)  
 急性期脳梗塞に対する血管内再開通療法の進  
 歩……………林 健太郎・諸藤 陽一  
 堀江 信貴・出雲 剛・松尾 孝之・ 761 (7)  
 当院における鋼製器械の品質管理状況と洗浄  
 用水の水質について  
 中山 博文・川口公悠樹・加藤 晶人  
 森嶋 啓之・長島 梧郎・八木岡節子  
 朝倉 武士・田中 慎一・田中雄一郎・ 845 (8)  
 下垂足にて発症した腰椎変性疾患の治療成績  
 高石 吉将・岡田 真幸・藤原 大悟  
 鶴山 淳・近藤 威・荒井 篤・ 851 (8)  
 血管内治療と開頭クリッピング術を要する多  
 発未破裂脳動脈瘤における治療戦略  
 福田 竜丸・今村 博敏・谷 正一  
 足立 秀光・福光 龍・春原 匡  
 大村 佳大・舟越 勇介・佐々木夏一  
 松井 雄一・秋山 亮・堀内 一史  
 梶浦 晋司・重安 将志・坂井 信幸・ 943 (9)  
 一般救急病院において外科的治療を行った小  
 児頭部外傷のうち、高次脳機能障害を残  
 遺した例の検討……………後藤 正幸

伊藤 嘉朗・塚田 和明・中村 和弘  
 上村 和也・石川 栄一・松村 明・ 949 (9)  
 脳深部刺激手術における術後デバイス関連感  
 染の検討……………小座野いづみ  
 川崎 隆・濱田 幸一・木村 活生  
 岸田 日帯・岡村 泰・樋口優理子  
 浦丸 浩一・坂田 勝巳・山本 哲哉・ 1037 (10)  
 ニューロナビゲーションを用いた側臥位局所  
 麻酔下定位脳生検術の有用性の検証  
 吉識 賢志・木下 雅史・田中 慎吾  
 南部 育・宮下 勝吉・中田 光俊・ 1045 (10)  
 脳血管内治療医が1名体制の地域中核病院に  
 おける血栓回収コールの現状  
 ……………太田 圭祐・松原 功明・ 1143 (11)  
 頸動脈内膜剝離術と頸動脈ステント留置術の  
 優劣—二刀流の観点から—  
 ……………林 健太郎・松永 裕希  
 林 之茂・白川 靖・岩永 充人・ 1151 (11)  
 神経膠腫が疑われる無症候性 FLAIR 高信号  
 病変の自然経過  
 菊地 善彰・松田憲一朗・園田 順彦・ 1231 (12)  
 症候性頸動脈狭窄症において総頸動脈限局病  
 変は再発危険因子か  
 ……………新美 淳・上田浩太郎  
 田坂 研太・鶴岡 淳・根本 文夫  
 森脇 拓也・畑山 和己・内藤 博道・ 1239 (12)

## 〔テクニカル・ノート〕

急性 M2 閉塞に対する血栓回収療法の工夫  
 —Penumbra-assisted half-stent thrombec-  
 tomy の初期治療経験—  
 ……………鶴山 淳・藤田 敦史  
 近藤 威・高石 吉将・荒井 篤  
 中村 直人・池内 佑介・中原 正博  
 三宅 茂・濱口 浩敏・甲村 英二・ 71 (1)  
 遠位部前大脳動脈瘤の部位、親動脈を同定す  
 るためのカラードップラーエコーの有用  
 性……………澤柳 文菜  
 壽美田一貴・田中 洋次・唐鎌 淳  
 工藤 琢巳・田村 郁・菅原 貴志  
 稲次 基希・成相 直・前原 健寿・ 321 (3)  
 再発慢性硬膜下血腫症例への手術における  
 exoscope 使用経験……………藤本 隆史  
 諸藤 陽一・高平良太郎・郡家 克旭  
 出雲 剛・鎌田 健作・松尾 孝之・ 429 (4)

皮質・白質刺激強度相対値を用いた皮質下刺  
激運動誘発電位による錐体路マッピング  
……………蛭田 亮  
藤井 正純・古川 佑哉・市川 剛  
鈴木 恭一・渡部 洋一・根本 未緒  
佐藤 拓・佐久間 潤・齋藤 清・ 957 (9)

三角部腫瘍に対する High parietal paramedian  
approach—Technical nuances and Case  
review—  
松岡 剛・田村 学・川俣 貴一・1053(10)

### 〔症例〕

脳出血術後に生じた paroxysmal sympathetic  
hyperactivity の 2 症例  
井上 大輔・三木 健嗣・森 恩  
山田 哲久・甲斐 康稔・名取 良弘・ 79 (1)

椎骨動脈起始部高度狭窄に併発した赤色血栓  
による、脳底動脈血栓症の 1 例  
……………板東 康司・佐藤 浩一  
佐藤 裕一・花岡 真実・倉敷 佳孝  
松崎 和仁・三宅 一・仁木 均・ 85 (1)

腕頭動脈原性脳塞栓症の 1 例  
……………鶴田 慎・永田 崇  
三橋 豊・井上 剛・大畑 建治・ 91 (1)

くも膜下出血急性期に腹腔内出血を併発した  
segmental arterial mediolysis と考えられた  
1 例  
小原 次郎・山尾 幸広・石井 暁  
清水 大功・菊池 隆幸・武信 洋平  
小松 克也・池田 宏之・稲田 拓  
西 秀久・安部倉 友・宮本 享・ 97 (1)

菌性上顎洞炎から硬膜下蓄膿（膿瘍）、続発性  
脳動脈炎と脳虚血を生じた 1 例  
……………源甲斐信行・阿部 博史  
高橋 陽彦・齋藤 祥二・岡本浩一郎・ 205 (2)

脳室腹腔シャントに合併した被嚢性腹膜硬化  
症と考えられる 1 例……………河野 勝彦  
和田 英樹・西岡 達也・絹田 祐司  
水上 陽・古市 健治・佐藤 滋高・ 211 (2)

内頸動脈海綿静脈洞部の窓形成近位に発生し  
た未破裂脳動脈瘤の稀な 1 例  
塩崎 絵理・日宇 健・近松 元気  
中村 光流・大園 恵介・本田 和也  
森塚 倫也・川原 一郎・小野 智憲  
原口 渉・牛島隆二郎・堤 圭介・ 217 (2)

術後早期に脾臓に転移した solitary fibrous tu-  
mour/haemangiopericytoma WHO grade III  
の 1 例……………榎本 年孝・青木光希子  
小林 広昌・安部 洋・石井 文規  
山内 靖・井上 亨・鍋島 一樹・ 329 (3)

脊髄未熟奇形腫の合併を術前画像診断した髄  
液漏を伴う先天性皮膚洞の 1 新生児手術  
例……………大志田創太郎  
吉田 浩二・和田 司・刑部 光正  
石田 和之・菅井 有・小笠原邦昭・ 337 (3)

くも膜下出血により対側動眼神経麻痺を来し  
た内頸動脈—前脈絡叢動脈分岐部脳動脈  
瘤の 1 例  
高野 裕樹・岩田 幸也・川俣 貴一・ 343 (3)

Posterior quadrantectomy が有効であった難治  
性てんかんの乳児例  
齋藤 太希・大石 誠・福多 真史  
塚本 佳広・大橋 伯・渡邊 潤  
根元 琢磨・川口 正・藤井 幸彦・ 349 (3)

直達手術により海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻の  
根治が得られた 1 例  
大園 恵介・諸藤 陽一・定方 英作  
堀江 信貴・出雲 剛・松尾 孝之・ 435 (4)

ワルファリン拮抗後に硬膜外自家血注入療法  
を繰り返すことで救命し得た重症低髄液  
圧症候群の 1 例……………松田 拓  
松崎 和仁・佐藤 浩一・石原 学  
花岡 真実・仁木 均・三宅 一・ 441 (4)

帝王切開に伴って発生した頭血腫の 1 例  
……………下高 一徳・武田 裕  
松田 剛・中野 俊久・藤木 稔・ 449 (4)

Twisted internal carotid artery を呈する内頸動  
脈狭窄に対する頸動脈内膜切除術  
……………林 健太郎・松永 裕希  
林 之茂・白川 靖・岩永 充人・ 455 (4)

成人における脳実質内症候性くも膜嚢胞に対  
する内視鏡手術—後期高齢者を含む 3 症  
例の報告—  
三野 正樹・藤村 幹・富永 悌二・ 461 (4)

中頭蓋窩くも膜嚢胞に合併し、うっ血乳頭で  
発見された慢性硬膜下血腫の小児例  
……………縣 正大  
東山 史子・大屋 房一・酒井 圭一・ 531 (5)

腹筋運動により誘発されたと思われる体幹部  
前屈ジストニア（腰曲がり）に対する両

- 側淡蒼球内節脳深部刺激術が奏効した1例……………岡 美栄子・堀澤 士朗  
竹田 信彦・平 孝臣・川俣 貴一・ 537 (5)
- くも膜下出血発症後、腹腔内出血を併発したsegmental arterial mediolysis の1例  
稲塚万佑子・今里 大介・山崎 圭  
前川 達哉・高橋 祐一・菊池 麻美  
横佐古 卓・山田 知香・新井 直幸  
黒井 康博・大淵 英徳・広田 健吾  
萩原 信司・谷 茂・平澤 元浩  
米山 琢・笹原 篤・糟谷 英俊・ 543 (5)
- 未破裂脳動脈瘤治療後に食道粘膜下血腫を来した3症例  
藤井 隆司・大石 英則・原 厚子  
寺西 功輔・矢富 謙治・山本 宗孝・ 551 (5)
- 周産期に発症した末梢性T細胞リンパ腫頭蓋内転移の1例  
……………江田 大武・宮崎 健史  
大西 千恵・三瀧 真悟・中川 史生  
萩原 伸哉・永井 秀政・秋山 恭彦・ 559 (5)
- 前大脳動脈脳梁下部(A2)の窓形成近位端に発生した未破裂脳動脈瘤の稀な1例  
近松 元気・日宇 健・塩崎 絵理  
中村 光流・大園 恵介・本田 和也  
森塚 倫也・川原 一郎・小野 智憲  
原口 渉・牛島隆二郎・堤 圭介・ 565 (5)
- 破裂ラトケ嚢胞により無菌性髄膜炎、二次性下垂体炎を呈した1手術例  
森永 裕介・新居 浩平・坂本 王哉  
井上 律郎・光武 尚史・花田 迅貫・ 637 (6)
- 自然血栓化し再開通を来した後下小脳動脈遠位部の小型破裂瘤の稀な1症例  
中村 光流・川原 一郎・近松 元気  
大園 恵介・日宇 健・小野 智憲  
原口 渉・牛島隆二郎・堤 圭介・ 647 (6)
- 頭蓋外血栓化頸動脈瘤の1例……………古峰 弘之  
寺西 亮雄・栢原 智道・武 裕士郎  
池上 方基・吉川雄一郎・栗田 浩樹・ 653 (6)
- Carotid web 病変の再考および治療戦略  
川原 一郎・日宇 健・小野 智憲  
原口 渉・牛島隆二郎・堤 圭介・ 659 (6)
- 開頭皮質下血腫除去術後1年を経て同部位に発生した膠芽腫の1例  
野田 伸司・北島 英臣・辻本 真範  
水谷 大佑・佐々木 望・篠田 淳・ 667 (6)
- 破裂末梢性後下小脳動脈瘤(cortical segment)の2例……………渡邊 瑞也・井口 整  
川村 海渡・藤田 修英・上野 英明  
中尾 保秋・山本 拓史・和田 了・ 673 (6)
- 経過中に画像変化が認められた右前頭部類皮腫の1例  
中村 和・岩田 真治・井上 明宏  
大上 史朗・福本 真也・市川 晴久  
尾上 信二・尾崎 沙耶・河野 兼久・ 769 (7)
- 経動脈的塞栓術が奏効した眼窩内硬膜動静脈瘻の1例……………佐藤 広崇・宮地 茂  
橋本 集・木下 由宇・和田 始  
鎌田 恭輔・谷川 緑野・上山 博康・ 777 (7)
- 脳深部刺激用バーホールキャップの脳内迷入により前頭葉症状を呈した1例  
……………森 史  
吉田宏一朗・渡辺 充・小林 一太  
深谷 親・大島 秀規・吉野 篤緒・ 785 (7)
- 腫瘍により頸部回旋時に頸髄が慢性・間欠的に圧迫され脊髄症を呈した1例  
河野 大・勝田 俊郎・左村 和宏  
大川 将和・森下 登史・井上 亨・ 795 (7)
- カイロプラクティック施術に関連した頸部外頸動脈仮性動脈瘤の1例  
……………岡田 真幸・鷗山 淳  
岡村 有祐・三宅 茂・寺蘭 貴浩  
山本 一宏・高石 吉将・近藤 威・ 799 (7)
- Primary intraventricular hemorrhageで発症した上矢状洞部硬膜動静脈瘻の1例  
……………大園 恵介・近松 元気  
中村 光流・塩崎 絵理・日宇 健  
堀江 信貴・川原 一郎・小野 智憲  
原口 渉・牛島隆二郎・堤 圭介・ 859 (8)
- コイル塞栓術後に親水コーティングに関連する脳実質変化を認め、軽快と増悪を繰り返した1例……………中溝 聡・三浦 伸一  
中村 直人・岡田 真幸・阪上 義雄・ 869 (8)
- 開頭クリッピング術中に心室頻拍を来した内頸動脈―後交通動脈瘤切迫破裂の1例―ハイブリッド手術室を用いたリカバリー……………細川 雄慎・福田 仁  
福井 直樹・濱田 史泰・矢田部智昭  
青山 文・帆足 裕・樋口 眞也  
上羽 佑亮・古島 知樹・上羽 哲也・ 877 (8)
- パーキンソン病に伴う認知症患者にみられた

- 脳アミロイド血管症関連くも膜下出血の  
1 例  
森永 裕介・新居 浩平・坂本 王哉  
井上 律郎・光武 尚史・花田 迅貫・883 (8)
- 第四脳室出口閉塞症候群に対するシャント術  
後遅発性合併症における緊急シャントク  
ランプシステムの有用性—2 症例報告—  
……………蒲原 明宏・池田 直廉  
井畑 知大・小坂 拓也・朴 陽太  
大村 直己・古瀬 元雅・野々口直助  
川端 信司・梶本 宜永・黒岩 敏彦・893 (8)
- 原発性トルコ鞍内軟骨様脊索腫の 1 例  
……………榊原陽太郎  
田口 芳雄・中村 歩希・小野寺英孝  
和久井大輔・池田 哲也・相田 芳夫・901 (8)
- 脳動静脈奇形に合併した慢性被膜化脳内血腫  
が塞栓術で縮小し臨床症状改善を認めた  
1 例……………園田 章太  
長島 弘泰・山本 洋平・青木 建  
角藤 律・三宅美佐代・村山 雄一・961 (9)
- 術前画像検査で骨肉腫が疑われた intraoss-  
eous meningioma の 1 例  
……………丹羽 章浩・小林 智範  
茂木 陽介・寺島 華江・大村 佳大  
松本 光司・小野 由子・川俣 貴一・969 (9)
- Optic pathway/hypothalamic glioma に対する  
ビンプラスチン治療—2 症例報告—  
……………山崎 文之  
高野 元気・米澤 潮・田口 慧  
高安 武志・杉山 一彦・栗栖 薫・977 (9)
- ガンマナイフ治療 10 年後に微小血管減圧術  
を行った三叉神経痛の 1 例  
……………森木 章人・森本 雅徳  
福岡 正晃・山口 佳昭・有光 誠人  
三宅 博久・目代 俊彦・内田 泰史・985 (9)
- 後下小脳動脈延髄前部の窓形成に発生した紡  
錘状未破裂脳動脈瘤の稀な 1 例  
……………中村 光流・江端 由穂  
日宇 健・近松 元気・塩崎 絵理  
森塚 倫也・川原 一郎・小野 智憲  
原口 渉・牛島隆二郎・堤 圭介・991 (9)
- 腎細胞癌術後 10 年以上経過して脳転移が認  
められた 3 手術例  
……………土井 一真・大谷 直樹  
遠藤あるむ・田邊 宜昭・竹内 誠
- 豊岡 輝繁・和田孝次郎・森 健太郎・1059(10)
- 両側鎖骨下動脈高度狭窄によってマスクされ  
た高血圧症に伴い発症した内頸動脈海綿  
静脈洞瘻……………下里 倫・林 基高  
日高 幸宏・武澤 秀理・飯島 明・1065(10)
- 皮質性くも膜下出血に近接する急性期微小皮  
質梗塞を認めた可逆性脳血管攣縮症候群  
の 1 例  
江端 由穂・福田 雄高・中村 光流  
近松 元気・塩崎 絵理・森塚 倫也  
日宇 健・川原 一郎・小野 智憲  
原口 渉・牛島隆二郎・堤 圭介・1073(10)
- Dermoid cyst を伴う先天性皮膚洞に脳膿瘍を  
合併した 1 例……………前田 雄洋・富永 篤  
近藤 浩・迫口 哲彦・籾 拓郎  
岐浦 禎展・竹下真一郎・栗栖 薫・1081(10)
- 中大脳動脈クリッピング時に中大脳動脈 M2  
癒合による窓形成が明らかとなった 1 例  
……………井手 宏二・諸藤 陽一  
出雲 剛・定方 英作・堀江 信貴  
案田 岳夫・森川 実・松尾 孝之・1089(10)
- 脳塞栓症発症 5 日目に経皮的血栓回収術を行  
った発作性心房細動の 1 例  
佐藤 直樹・石川 敏仁・海老原研一  
遠藤 勝洋・遠藤 雄司・太田 守・1093(10)
- 左上葉肺切除術後の内頸動脈塞栓症に対し、  
血栓回収術を施行した 1 例  
……………谷村奈津美・佐藤 浩一  
蔭山 彩人・花岡 真実・倉敷 佳孝  
松崎 和仁・三宅 一・仁木 均・1157(11)
- 副中大脳動脈に関連した塞栓性脳梗塞に対し  
て急性期血行再建術を施行した 1 例  
……………松永 裕希  
林 健太郎・岡村 宗晃・林 之茂  
白川 靖・岩永 充人・松尾 孝之・1165(11)
- 類表皮嚢胞の悪性転化と診断した小脳橋角部  
扁平上皮癌の 1 例  
……………永田 圭亮・清藤 哲史  
梅川 元之・横山 宗伯・楚良 繁雄・1173(11)
- c-Myc 転座と Bcl-2 蛋白発現を有する high  
grade B-cell lymphoma の急速進行例  
……………森永 裕介  
新居 浩平・坂本 王哉・井上 律郎  
光武 尚史・花田 迅貫・堤 正則・1179(11)
- 鈍的頭部外傷により中大脳動脈 M2 起始部に

|                                                                        |                   |           |
|------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----------|
| 仮性動脈瘤を生じた1例                                                            | 清水 暁・望月 崇弘        |           |
|                                                                        | 黒田 博紀・岡 秀宏・隈部 俊宏  | 1185 (11) |
| 両側視床病変を呈し両側基底核に出血を来したテント部硬膜動静脈瘻の1例                                     | 柏木 秀基             |           |
|                                                                        | 松原 功明・池田 直廉・平松 亮  |           |
|                                                                        | 矢木 亮吉・二村 元・辻 優一郎  |           |
|                                                                        | 福尾 裕介・蒲原 明宏・黒岩 敏彦 | 1247 (12) |
| 外傷性原発性脳幹部損傷により閉じ込め症候群を呈した1例                                            | 山西 俊介・田中 宏知       |           |
|                                                                        | 宮本 宏人・巽 祥太郎・甲村 英二 | 1255 (12) |
| 側副血行路として遺残した網状血管に生じた脳動脈瘤が破裂しくも膜下出血を来した内頸動脈終末部形成不全 (C1 dysplasia) の1小児例 | 水野 晃宏・原口 健一       |           |
|                                                                        | 岡田 健・遠藤 乙音・藤井健太郎  |           |
|                                                                        | 高柳 海・平松 拓・山本 直人   | 1261 (12) |
| 尿管管癌による転移性脳腫瘍                                                          | 村上 友太・小林 亨        |           |
|                                                                        | 鳴瀬 悠・遠藤 健・齋藤 清    | 1269 (12) |
| 絞扼性肩甲上神経障害に対して微小脳神経外科的治療を行った一例                                         | 藤原 史明・森下 登史       |           |
|                                                                        | 松本順太郎・田尻 崇人・井上 亨  | 1275 (12) |
| 脳出血を合併した遺伝性出血性毛細血管拡張症に伴う脳動静脈奇形の1症例                                     | 後藤 克宏・河村陽一郎・西村 中  |           |
|                                                                        | 有村 公一・溝口 昌弘・飯原 弘二 | 1281 (12) |

### 〔連載 日常診療に役立つ“頭部外傷”の minimum essence〕

- (5) 頭部外傷による高次脳機能障害  
河井 信行・畠山 哲宗・田宮 隆・ 105 (1)
- (6) スポーツ頭部外傷の診断と対応  
中山 晴雄・ 231 (2)

### 〔連載 臨床研究の知識 update〕

- (1) 利用目的から考える個人情報保護—医療・医学研究から商業利用まで—  
田代 志門・ 241 (2)
- (2) 利益相反の最近の考え方……七戸 秀夫・ 367 (3)
- (3) 臨床研究法の概要……佐藤 典宏・ 481 (4)
- (4) 次世代医療基盤法とビッグデータ活用

- ……山本 晴子・ 577 (5)
- (5) 脳神経外科領域の医療機器開発への期待  
根木 宏明  
河原崎秀一・相澤 浩一・石井 健介・ 688 (6)
- (6) アカデミアにおける橋渡し研究と臨床研究支援体制の整備  
齊藤 延人・森豊 隆志・ 805 (7)

### 〔特別寄稿 脳神経外科コントロールシー 2019〕

- (1) てんかん外科における頭蓋内脳波の適応  
岩崎 真樹・高山裕太郎・飯島 圭哉  
木村 唯子・村岡 範裕・金子 裕・ 5 (1)
- (2) パーキンソン病に対する DBS—STN vs. GPi—  
平林 秀裕・永田 清  
下川原立雄・佐々木亮太・村瀬 永子・ 15 (1)
- (3) 乳児期の水頭症治療 (脊髄髄膜瘤合併)  
—シヤント手術 vs. ETV—  
西山 健一・ 27 (1)
- (4) くも膜嚢胞に対する治療—内視鏡治療かシヤント手術か—  
埜中 正博・浅井 昭雄・ 39 (1)
- (5) 脳内腫瘍性病変に対する手術の転換期—顕微鏡手術時代から鏡視下 (内視鏡・外視鏡) 手術時代へ—  
岡 秀宏・ 129 (2)
- (6) 下垂体腫瘍の手術選択—内視鏡手術 vs. 顕微鏡手術—  
山田 正三・ 139 (2)
- (7) グレード2 神経膠腫に対する治療方針—手術・放射線治療・化学療法—  
新田 雅之・村垣 善浩・ 147 (2)
- (8) NF2 聴神経腫瘍の治療選択—外科治療の立場から—  
松島 健・河野 道宏・ 161 (2)
- (9) 増え続ける高齢者腰椎変性疾患に脳神経外科医としてどのように対峙するか  
西村 由介・原 政人・若林 俊彦・ 261 (3)
- (10) 増え続ける高齢者の成人脊柱変形に整形外科医としてどのように対峙するか  
金村 徳相・佐竹宏太郎  
中島 宏彰・石川 喜資・大内田 隼  
山口 英敏・世木 直喜・今釜 史郎・ 271 (3)
- (11) 大型内頸動脈瘤に対する血管内治療 vs. 直達手術……  
岩間 亨・榎本由貴子  
江頭 裕介・中山 則之・吉村 紳一・ 287 (3)

### 〔特別寄稿 AI 時代における脳と心〕

- AI 時代における脳と心①……浅野 孝雄・ 908 (8)
- AI 時代における脳と心②……浅野 孝雄・ 998 (9)

AI 時代における脳と心③……………浅野 孝雄・1106(10)  
AI 時代における脳と心④……………浅野 孝雄・1199(11)  
AI 時代における脳と心⑤……………浅野 孝雄・1289(12)

小野 智憲・川原 一郎・原口 渉  
牛島隆二郎・戸田 啓介・堤 圭介・1193(11)

## 〔文献抄録〕

押野 悟・有田 英之・249 (2)  
中村 元・大西諭一郎・375 (3)  
木下 学・平山 龍一・491 (4)  
谷 直樹・細見 晃一・585 (5)  
高垣 匡寿・Khoo Hui Ming・695 (6)  
西田 武生・香川 尚己・915 (8)  
菅野 秀宣・1115(10)  
梅村 淳・1211(11)  
中島 円・1301(12)

## 〔IT 自由自在〕

術中覚醒下言語野マッピングの言語課題の一元管理化を可能とするタブレット端末を使用したソフトウェア開発の試み  
川田 拓・川崎 聡大・瀬溝 香澄  
古西 隆之・黒住 和彦・市川 智継・357 (3)

## 〔教訓的症例に学ぶシリーズ〕

頭部外傷後遅発性に橋前槽に出血を呈した血友病患者の1例……………松澤 良  
立石 健祐・岩田 盾也・沼上 佳寛  
竹本 安範・持松 泰彦・山本 哲哉・225 (2)  
重篤な心電図変化を来したてんかん重積状態の2例  
勝部 毅・魚住 洋一・宮本 宏人  
宝田 明・巽 祥太郎・甲村 英二・469 (4)  
意識障害を呈した SCIWORET の1例  
森永 裕介・新居 浩平・平岡 史大  
坂本 王哉・井上 律郎・光武 尚史  
江藤 歩・花田 迅貫・堤 正則・475 (4)  
大きな脊髓空洞症を伴った脊髓血管芽腫小病変の3例  
前嶋 竜八・川口 礼雄・青山 正寛  
竹内 幹伸・上甲 眞宏・高安 正和・573 (5)  
皮膚壊死を防止するために対側浅側頭動脈グラフトを用いて浅側頭動脈—中大脳動脈バイパス術を行った開頭術後の外傷性中大脳動脈瘤の1例  
藤本健太郎・久保 慶高・幸治 孝裕  
吉田 純・吉田 研二・石垣 大哉  
笹生 昌之・吉田 雄樹・小笠原邦昭・683 (6)  
神経内視鏡手術を行った症候性松果体嚢胞の1例……………齋藤 紀彦・平井 希  
青木 和哉・高萩 周作・八木橋彰憲  
佐藤 詳・鈴木 遼・平元 侑  
林 盛人・櫻井 貴敏・岩渕 聡・1101(10)  
確定診断が遅延した金属製パラソルハンガーによる経鼻腔的穿通性脳幹損傷の1例  
佐藤 慧・日宇 健・副島 航介  
松尾 彩香・近松 元気・中村 光流  
塩崎 絵理・本田 和也・森塚 倫也